

子育てに関する県民意識調査



日頃から県の児童福祉行政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

このたび県では、県内にお住まいの18歳以上の方3,000人を無作為に選ばせていただき、アンケートを実施することになりました。この調査は、子育てを社会で支える施策を推進するにあたり、子育てに関する県民の皆さんの意識や実態を把握し、今後の施策について検討するための基礎資料にさせていただくものです。

子育て中であるかどうかにかかわらず、お感じになっておられることを率直にお聞かせください。

お忙しい中、お手数をおかけいたしますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願いいたします。

平成30年（2018年）9月

滋賀県健康医療福祉部 子ども・青少年局

ご記入にあたってのお願い

▼このアンケート調査は、個人を対象としています。子育て中であるかどうかにかかわらず、封筒のあて名の方のお考え等を記入してください。

▼この調査は無記名でお願いします。また、この調査票に記入された内容は統計的に処理しますので、内容が外部にもれたりしてご迷惑をおかけすることは決してございません。どうぞありのままをお答えください。

▼特にことわり書きが無い限り、全ての質問にお答えください。

▼回答は問1から順に、質問ごとに用意した答えの中から、あなたのお考えに近いものの番号に○印をつけてください。（一部に、（ ）内に数字等を記入いただく質問もあります。）

▼回答によって、次の質問をとばしていくところがありますが、その場合には質問の指示に従ってすすんでください。

▼ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒に入れて、9月30日（日）までにご投函くださいますようお願いいたします。（お名前を書いていただく必要はありません。）

この調査についてのお問い合わせなどございましたら、下記までご連絡をお願いします。

滋賀県健康医療福祉部 子ども・青少年局 家庭福祉・青少年係
電話 077-528-3550（直通）



少子化問題についておうかがいします

問1. あなたは出生率の低下が進むことについてどのように思われますか。(〇は1つだけ)

- 1 大変深刻な問題だと思う
- 2 ある程度深刻な問題だと思う
- 3 望ましくはないが、心配するほどではないと思う
- 4 特に問題はないと思う → 問3へ

問2. 【問1で「1」～「3」のいずれかをお答えの方へ】

深刻な問題、あるいは望ましくはない理由をお答えください。(〇は1つだけ)

- 1 高齢化が進み、若い人の負担が増加するから
- 2 子どもどうしのふれあいが減少し、子どもの社会性の発達が阻害されるから
- 3 子どもへの親の期待が大きくなり、子どもの精神的負担が増えるから
- 4 社会全般の活力が低下するから
- 5 若い労働力が少なくなるから
- 6 日本の人口が減って国の経済力が衰えるから
- 7 その他(具体的に)
- 8 わからない

問3. あなたは少子化対策に関し、どのようなお考えをお持ちですか。(〇はいくつでも)

- 1 結婚や出産そのものを奨励すべきである。
- 2 男女が協力して家庭を築くことの大切さやすばらしさを十分に伝えていくべきである。
- 3 子育てに対する不安や悩みを気軽に相談できる支援体制の整備を進めるべきである。
- 4 保育所など地域における子育て支援サービスを充実すべきである。
- 5 男性がもっと育児に参加できるよう、長時間労働等の働き方の見直しを進めるべきである。
- 6 職場における仕事と子育ての両立のための取組を充実すべきである。
- 7 安定した家庭を築くことができるよう就労の支援を進めるべきである。
- 8 子育てや教育に係る経済的負担の軽減のための取組を充実すべきである。
- 9 結婚、妊娠・出産、子育てと仕事の両立など、将来を総合的に見通したライフデザインについて考える機会を学生等に提供すべきである。
- 10 対策は行わなくてよい。

子育てへの希望や意識についておうかがいします

問4. 実際にもつかどうかは別として、あなたにとって、理想とする子ども数は何人ですか。

「五人以上」の場合は具体的な人数をご記入ください。(〇は1つだけ)

- | | |
|------|-----------------|
| 1 一人 | 4 四人 |
| 2 二人 | 5 五人以上→(具体的に 人) |
| 3 三人 | 6 子どもはもたない |

問5. あなたは実際には、何人の子ども(現在いる子どもを含めて)をもつつもりですか。

「五人以上」の場合は具体的な人数をご記入ください。(〇は1つだけ)

- | | |
|------|-----------------|
| 1 一人 | 4 四人 |
| 2 二人 | 5 五人以上→(具体的に 人) |
| 3 三人 | 6 子どもはもたない |

問6. 【問4の「理想の子ども数」より問5の「実際にもつつもりの子ども数」が少ない方へ】
理想の子ども数より、実際にもつつもりの子ども数が少ないのはどのような理由からですか。
(○はいくつでも)

- | | |
|---------------------------|----------------------------------|
| 1 子育てや教育にお金がかかりすぎるから | 8 家が狭いから |
| 2 高年齢で産むのはいやだから(年齢的な理由から) | 9 配偶者の家事・育児の協力が得られないから |
| 3 育児の心理的、肉体的負担に耐えられないから | 10 自分や夫婦の生活を大切にしたいから |
| 4 子どもがのびのび育つ社会環境ではないから | 11 一番末の子が自分や配偶者の定年退職までに成人して欲しいから |
| 5 健康上の理由から | 12 配偶者が望まないから |
| 6 自分の仕事(勤めや家業)に差し支えるから | 13 その他(具体的に) |
| 7 欲しいけれどもできないから | |

【問7・問8は現在、0歳から中学生までのお子さんがおられる方におたずねします。
それ以外の方は、次頁の問9へおすすみください。】

問7. あなたは、子育てや子育て環境に関する次のa~iそれぞれについて、どのように感じていますか。(各々○は1つずつ)

	そう感じる	よく感じる	そう感じる	あまり感じない	全く感じない
a.毎日が充実している →	1	2	3	4	
b.子育てが楽しい →	1	2	3	4	
c.出産・子育ては自分にとって大きなプラスだ →	1	2	3	4	
d.育児の自信がなくなる →	1	2	3	4	
e.自分のやりたいことができない →	1	2	3	4	
f.育児ストレスを感じることもある →	1	2	3	4	
g.子どもを虐待しているのではないかと感じることもある →	1	2	3	4	
h.現在の住宅は、子育てをするのに十分な広さ、ゆとりがない →	1	2	3	4	
i.公共施設や駅、量販店などの設備・構造が、子どもや子ども連れの親子にとって利用しにくい →	1	2	3	4	

問8. 子育てをしながら働く上での問題点はどのようなことだと思いますか。(○は3つまで)

- | | |
|---------------------------------|--|
| 1 子育てに十分時間がかけられない | |
| 2 職場の上司、同僚の理解・協力が得られない | |
| 3 仕事と家事・育児の両立が体力・時間的に困難 | |
| 4 昇進や昇給に不利 | |
| 5 休みが取りにくい、残業が多い | |
| 6 子どもを預かってくれる保育施設や保育サービスが見つからない | |
| 7 配偶者・パートナーの理解・協力が得られない | |
| 8 その他(具体的に) | |

【全員の方へ】

子育て支援サービスについておうかがいします

問9. あなたのお住まいの地域は子育てしやすい所だと思われませんか。
(〇は 1つだけ)

- 1 そう思う
2 そう思わない
3 どちらとも言えない

問10. 行政（国・県・市町）は、どのような子育て支援の取り組みを充実させるべきだと考えますか。
(〇は 5つまで)

- | | |
|--------------------------------------|---|
| 1 児童手当の充実 | 14 子どもの体験活動の機会の提供 |
| 2 保育料や高校・大学等の教育費の負担の軽減 | 15 母子保健対策の充実 |
| 3 労働時間の短縮や働き方の見直し | 16 不妊治療に関する医療保険適用の拡大など不妊治療に関する支援体制の整備 |
| 4 育児休業制度や再就職制度の充実 | 17 妊娠・出産・子育てについての不安や悩みの相談や情報提供、学習の支援体制の充実 |
| 5 育児休業中の給付額の拡充 | 18 いじめや引きこもりを防止するための対策や啓発 |
| 6 事業所内保育施設の設置 | 19 児童虐待を防止するための対策や啓発 |
| 7 子育てと就業との両立の大切さの職場への啓発 | 20 非行防止や環境浄化等子どもが健全に育つための対策 |
| 8 男性の家事・育児に関する意識づくり | 21 乳幼児連れでも活動しやすい公共的施設等（民間施設を含む）の整備 |
| 9 つどいの広場など、低年齢の子どもと保護者が一緒に過ごせる居場所の充実 | 22 子育て世帯が優先的に入居できるような公営住宅の整備等住宅対策 |
| 10 地域で子育てを支える住民参加の機会の提供 | 23 その他（具体的に ） |
| 11 保育施設（保育園・認定こども園など）の充実 | 24 特にない |
| 12 保育サービス（病児保育、一時預り、放課後児童クラブなど）の充実 | |
| 13 子どもが安心して遊べる児童館や公園等の整備 | |

問11. あなたは、次のa～eの子育て支援サービスを知っていますか。（各々〇は 1つずつ）

	利用したことがある	知っている（利用したことはない）	聞いたことはあるが詳しくは知らない	知らない
a.ファミリー・サポート・センター →	1	2	3	4
b.一時預かり事業 →	1	2	3	4
c.放課後児童クラブ →	1	2	3	4
d.地域子育て支援拠点事業（子育て支援センター、つどいの広場など） →	1	2	3	4
e.淡海子育て応援団 →	1	2	3	4

問12. 子育て支援の取り組みを充実するために必要な財源等に関し、あなたの考えに近いものはどれですか。
(〇は3つまで)

- | | |
|---------------------------------------|---|
| 1 地域住民の協力（ボランティア活動などの人的支援）を求める | |
| 2 子育て支援サービスを利用する人の負担金などを増やす | |
| 3 県民・企業など広く社会全体で新たな財源を負担する | |
| 4 行政の予算の配分比率を見直し、子育て支援の取り組みの財源を確保する | |
| 5 財政的な負担が新たに必要なら子育て支援の取り組みを充実させる必要はない | |
| 6 その他（具体的に | ） |
| 7 特になし | |

問13. 子育てに関する情報の主な入手先はどれだと思えますか。(〇は3つまで)

- | | |
|----------------------------|-----------------------|
| 1 親族（親・きょうだいなど） | 8 市町の広報やパンフレット |
| 2 知人、友人 | 9 テレビ、ラジオ、新聞 |
| 3 子育てサロンや、子育てに関するサークルなどの仲間 | 10 その他の情報誌 |
| 4 市役所・町役場や、その支所など | 11 インターネット（市町のホームページ） |
| 5 保育所・幼稚園・認定こども園 | 12 インターネット（他のホームページ） |
| 6 学校 | 13 その他（具体的に |
| 7 病院・診療所などの医療機関 | 14 わからない |

地域の子どもへの関わり等についておうかがいします

問14. (1) あなたは、a.乳幼児や、b.小学生、c.中学生・高校生ぐらいの地域の子どもと、遊んだり、一緒に活動するような機会がありますか。(各々〇は1つずつ)

(2) 【a~c各々について(1)で1~3をお答えの方へ】それはどのような場ですか。
(各々〇はいくつでも)

	(1) 遊んだり、一緒に活動するような機会がありますか。				→	(2) それはどのような場ですか (各々〇はいくつでも)						
	1 よくある	2 時々ある	3 あまりない	4 全くない		1 近所付き合いで	2 地域のまつりやイベント、行事で	3 の交流行事で	4 保育所や幼稚園、学校などの活動で	5 地域のスポーツクラブや団体活動で	6 親戚の集まりや保護者の友人・知人の集まりで	7 その他（こども食堂など）
a.乳幼児	→	1	2	3	4	→	1	2	3	4	5	6
b.小学生	→	1	2	3	4	→	1	2	3	4	5	6
c.中学生や高校生	→	1	2	3	4	→	1	2	3	4	5	6

問15. あなたは、地域で子育てを支えるために、どのようなことが重要だと思いますか。この中から特に重要だと思うものをお選びください。（〇は3つまで）

- 1 子育てに関する悩みについて気軽に相談できる人や場があること
- 2 子育てをする親同士で話ができる仲間づくりの場があること
- 3 子育てに関する情報を提供する人や場があること
- 4 不意の外出や親の帰りが遅くなった時などに子どもを預かる人や場があること
- 5 子どもと一緒に遊ぶ人や場があること
- 6 子どもにスポーツや勉強を教える人や場があること
- 7 地域の伝統文化を子どもに伝える人や場があること
- 8 子どもの防犯のための声かけや登下校の見守りをする人がいること
- 9 子どもと大人と一緒に参加できる地域の行事やお祭りなどがあること
- 10 その他（具体的に
- 11 特にな

問16. あなたは、地域における子育てに関する活動の支え手として、上記（問15の1～10）のような場や活動に参加（協力）をしていますか。（〇は1つだけ）

- 1 現在参加（協力）している
- 2 現在は参加していないが、今後機会があれば参加（協力）したい
- 3 現在は参加しておらず、今後も参加（協力）するつもりはない

企業の子育て支援についておうかがいします

問17. 企業の制度や取り組みのうち、子育て中の従業員に役立つと思うものをお答えください。子どものいない方、働いていない方も、子育てに役立つと思われるものを選んでください。（〇はいくつでも）

a.労働時間や勤務形態に関連したものについて

- | | |
|-----------------------------|-------------------------|
| 1 短時間勤務（所定内労働時間の短縮） | 5 半日や時間単位の有給休暇 |
| 2 所定外労働免除（残業免除） | 6 在宅勤務（週1日などの部分在宅勤務を含む） |
| 3 始業・終業時刻の繰上げ・繰下げ | 7 転勤免除（勤務地域を限定した勤務制度など） |
| 4 フレックスタイム（出勤・退勤時間を労働者が決める） | 8 いずれも役立つとは思えない |

b.休暇制度や再雇用に関連したものについて

- | | |
|-----------------------------|---------------------------------|
| 1 法定（子どもが1歳になるまで）以上の期間の育児休業 | 4 父親休暇（子どもの出産に関する休暇） |
| 2 子どもの看護のための休暇 | 5 再雇用制度（退職者をパート等で優先的に雇用する制度を含む） |
| 3 子どもの行事参加のための休暇 | 6 いずれも役立つとは思えない |

c.福利厚生や経済的援助に関連したものについて

- | | |
|-------------------------|--------------------------|
| 1 事業所内保育施設の設置 | 5 子どもに関する祝い金・見舞金（出産や入学等） |
| 2 家族手当（子どものいる人を対象とするもの） | 6 子どもの教育費に関する援助（貸付等） |
| 3 保育費用の補助 | 7 いずれも役立つとは思えない |
| 4 育児休業中の賃金助成（企業独自の対応） | |

あなたご自身、および世帯のことについておうかがいします

問 18. あなたの性別をお答えください。

- | | |
|------|------|
| 1 男性 | 2 女性 |
|------|------|

問 19. あなたの年齢をお答えください。

- | | | |
|-----------|-----------|------------|
| 1 18～24 歳 | 5 40～44 歳 | 9 60～64 歳 |
| 2 25～29 歳 | 6 45～49 歳 | 10 65～69 歳 |
| 3 30～34 歳 | 7 50～54 歳 | 11 70 歳以上 |
| 4 35～39 歳 | 8 55～59 歳 | |

問 20. あなたの職業をお答えください。

- | | | |
|----------------|--------|--------|
| 1 自営業（農業を含む） | 4 学生 | 7 その他 |
| 2 勤め人（正規社員・職員） | 5 家事専業 | 〔具体的に〕 |
| 3 パート・アルバイト | 6 無職 | |

問 21. あなたがお住まいの「市・町」をお答えください。

- | | | | |
|-------|---------|--------|--------|
| 1 大津市 | 8 近江八幡市 | 12 彦根市 | 17 長浜市 |
| 2 草津市 | 9 東近江市 | 13 愛荘町 | 18 米原市 |
| 3 守山市 | 10 日野町 | 14 豊郷町 | 19 高島市 |
| 4 栗東市 | 11 竜王町 | 15 甲良町 | |
| 5 甲賀市 | | 16 多賀町 | |
| 6 野洲市 | | | |
| 7 湖南市 | | | |

問 22. 結婚（事実婚を含む）されていますか。

- | | | |
|------------------------|---------|-----------------|
| 1 結婚している（配偶者がいる） | →問 23 へ | |
| 2 結婚していた（配偶者とは離婚・死別した） | →問 24 へ | 3 未婚である →問 24 へ |

問 23. 【問 22 で「1. 結婚している（配偶者がいる）」とお答えの方へ】

あなたと配偶者は、自営業、会社員、パート等を問わず、いわゆる「夫婦共働き」ですか。

- | | |
|----------------------|--------------|
| 1 夫婦とも働いている（いわゆる共働き） | 3 妻のみ働いている |
| 2 夫のみ働いている | 4 二人とも働いていない |

問24. あなたにはお子さん（別居されているお子さんも含め）はいらっしゃいますか。

1 いる → () 人

2 いない → これで質問は終了です

【ここから後の質問は、問24で、お子さんが「1 いる」とお答えの方へ】

問25. お子さん（別居されているお子さんも含め）について、あてはまる番号をすべて選んでください。
（同一選択肢に複数あてはまる場合でも、一つの選択肢には〇一つでお願いします。）

1 乳児（1歳未満）

4 中学生

6 学校を卒業した未婚の子ども

2 幼児（1歳以上）

5 高校生、大学生、大学院生

7 結婚した子ども

3 小学生

（高専、短大、専門学校等を含む）

問26. あなたの世帯は、次のいずれにあてはまりますか。

1 単身世帯（ひとり暮らし）

4 三世帯世帯（親と子と孫の三世帯）

2 夫婦のみの世帯

5 その他（具体的に

3 二世帯世帯（親と子の二世帯）

問27. 世帯全体の年収は、次のいずれにあてはまりますか。

1 200万円未満

4 600万円以上 800万円未満

2 200万円以上 400万円未満

5 800万円以上 1000万円未満

3 400万円以上 600万円未満

6 1000万円以上

問28. 現在お住まいの地域での居住年数は、何年になりますか。

1 一年未満

2 一年～三年未満

3 三年～五年未満

4 五年～十年未満

5 十年以上

◎ご協力ありがとうございました。
同封の返信用封筒に入れて、
9月30日（日）までにご投函ください。